



TONYKART RACING TEAM JAPAN

レースレポート

2016オートボックス全日本カート選手権

KF 第9戦&第10戦

開催場所：鈴鹿サーキット 南コース

開催日：10月22日～23日

参加台数：24台

天候：くもり時々晴れ 路面状況：ドライ

■最終戦では佐々木が優勝目前のところまでアクシデント！

2016年の最終戦、金曜日までは比較的暖かくチームとしても仕上がりは上々であったが、土曜日の朝からは前日より大きく冷え込み、セッティングに苦しんでしまった。

そんな中でもドライバーの奮闘により優勝目前のところまでいったが、最後の最後にアクシデントに合ってしまう6位入賞となってしまった。しかしながら今年一年は昨年よりも大きく戦闘力の上昇したブリヂストンタイヤを駆使してチャンピオン獲得の可能性もあったシーズンであった事は大きな前進であった。2017はチャンピオン奪還出来ると信じて、チーム一丸となって戦っていききたい。

■第9戦決勝（くもり／ドライ） #5 佐々木大樹 5位 #9 高橋悠之：8位

#5 佐々木は3番手からのスタート、#9 高橋は予選ヒートでアクシデントが発生し20番手からのスタートとなった第9戦の決勝。#5 佐々木はスタートで2番手にポジションを上げると2周目の1コーナーでトップに立ちそのまま序盤はレースを引っ張るが中盤辺りから徐々にペースが厳しくなり、最後は5位。一方#9 高橋はスタートからオープニングラップで大きくポジションを上げると#5 佐々木同様、非常に良いペースでトップグループに追いついていく。しかしレース終盤には追いつけなくなり、8位でチェッカーを受けた。



■第10戦決勝（くもり／ドライ） #5 佐々木大樹 6位 #9 高橋悠之：12位

#5 佐々木は3番手、#9 高橋は7番手からスタートした最終戦。#5 佐々木はスタートでポジションをキープすると3周目に2番手にポジションアップ。#9 高橋はスタート直後の2コーナーで後続車に大きく乗り上げられ、シャーシを破損し最後尾にドロップ。しかしペースは悪くなく追い上げを開始する。

そして#5 佐々木はトップ争いそのまま残り2周となったヘアピンでトップに立ち優勝目前となったが、その後のシケインで2番手の選手に後ろから激しくヒットされ万事休す。シャーシも曲がってしまい、ラストラップをなんとか走行出来たが、6位で帰って来るのが精いっぱいだった。

#9 高橋は最終ラップまでバトルを展開し、12位で最終戦を終えた。

■佐々木大樹のコメント

「今回のレースは、とても良い勉強になったレースでした。練習中から勝つための速さが少し足りない中で、どうしたら勝てるのかを、チームのみなさんと共に考え、最善のものをレースに用意できたと思います。自分のドライビングもいろいろ変えて、トップ争いでき、良いレースができたと思います。結果としては残念でしたが、自分、チーム、そして、ブリヂストンにとっても、来年につながる収穫が大きくあったと思います。

とても、有意義なレースができました。

来年は、ぜひチャンピオン奪還したいです。応援ありがとうございました。」



■高橋悠之のコメント

「今回のレースでは練習走行からレース当日まですごく難しいレースウィークになりました。

セッティングは良かったのですがスタートでミスをしたり、接触したせいで思うように走れず不甲斐ない結果に終わってしまいました。

チャンピオンの可能性があっただけにとても悔しいです。

こうして1年間戦えたことにとても感謝しています。関係者の皆様、本当にありがとうございました。」

■松浦監督のコメント

「2016年の最終戦。昨年は非常に悔しい思いをしたここ鈴鹿で、チームはトップ争いを繰り広げる活躍が出来ました。結果こそ残念ではありましたが、翌年に向けては非常に期待の出来る仕上がりがだったと思います。ドライバー・チームスタッフ・ブリヂストンタイヤ皆の努力が実を結んできています。2017はOKカテゴリーには変わりますが、内容だけでなく結果をしっかり残していきたいと思っています。

本年もチームを支えて下さったご協賛企業の皆様、本当に有難うございました。」

